

平和啓発事業の一環として平和を願う標語作品を募集したところ、小学生の部116点、中学生の部577点の応募をいただきました。選考により入選した作品をご紹介します(敬称略)。

問い合わせ 総務課庶務・ふるさと納税担当

小学生の部

5年生

見て聞いて つなげていこう 平和への想い
(小峰颯介 高萩北小学校)

平和な国は 世界で一番 強い国
(八木美月 武蔵台小学校)

6年生

平和への願いを込めて 折った千羽の鶴
世界を超えてどこまでも飛びますように
(鈴木里穂奈 高萩小学校)

過去を知り 今日に感謝し 未来をつくる
(松本このは 高萩小学校)



中学生の部

1年生

「恐ろしい過去」 そんな一言で 片づけないで
(谷ヶ崎花 高麗川中学校)

うすれゆく 戦争の悲しみ おそろしさ
永遠に続け 笑顔の日々

(小原望七 高萩中学校)

「また明日」 言える幸せ 世界へと
(土屋小夏 高萩中学校)

2年生

僕たちはやらねばならぬことがある
数多の祈りを つなぐこと

(安部瑠晟 高麗川中学校)

永遠続く 戦争の悲惨さ 未来へと
二度狂わせない 平和の歯車

(寺島夢生 高麗川中学校)

平和な令和 あの空とあの瞬間を 忘れない
(伊藤紘太郎 高萩北中学校)

3年生

日本から 世界へつなげ 平和のバトン
(横田紗衣 高麗中学校)

武器兵器 作らず創ろう 平和の輪
(神田侑輝 高麗川中学校)

つなげよう 平和のバトン 「和」を結ぶ
(五十嵐琉生 武蔵台中学校)

地球温暖化による気候変動から、世界各地で大型台風やハリケーン・記録的な豪雨・熱波や干ばつなどの異常気象が多発しています。また、気温上昇から熱中症の増加だけでなく、生活にも悪影響が出てきています。

年間の約1/3が真夏日!

環境省・気象庁が、日本国内における気候変動予測をした結果、温室効果ガスなどのCO₂濃度上昇の最悪ケースでは、今世紀末の真夏日は、現在より全国で平均52.8日増加すると予測されています。また、降水量も大雨により増加傾向にあると予測されています。

▶出典：温室効果ガスインベントリオフィス/全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイトより



卒業式に桜散る!?

サクラ(ソメイヨシノ)の開花には、開花直前の気温が最も重要です。1953年以降、10年あたり1.0日の割合で早くなっています。現在では、1953年と比べて約7日開花が早くなっています。

地球温暖化の影響を減らすためには、一人一人の小さな取り組みの積み重ねが大事です。

次回は「地球温暖化対策の取り組みについて①」を掲載します。

問い合わせ 環境課生活環境担当